



かみさと 議会だより

- ◇8月臨時会・9月定例会の審議状況 …P 2
- ◇令和4年度決算審査報告 ……P 4
- ◇9月定例会一般質問に9人 …P 6
- ◇第2回意見交換会ならびに議会報告会 …P15
- ◇12月定例会会期日程等 ……P16

上里町
指定文化財

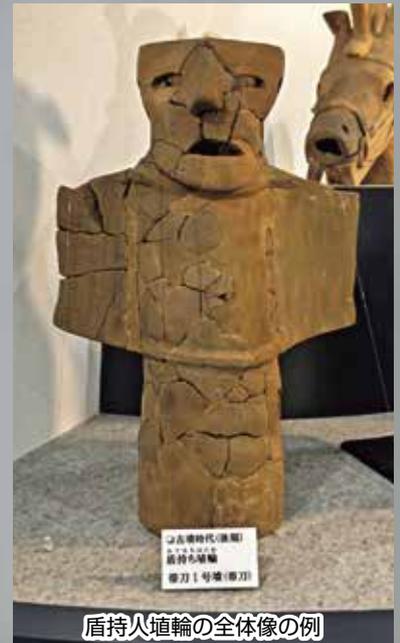
埴輪頭部 (埴輪界のイケメン)



101



上里町の地図
※○の部分が「毘沙吐」



盾持人埴輪の全体像の例

大字毘沙吐で発見された人物埴輪の頭部である。男性の姿をしており、ずっと伸びた鼻筋が特徴的である。また頭には、頭巾を着けている。これは悪霊などから古墳を守る「盾持人埴輪」の特徴のひとつであり、この埴輪も「盾持人埴輪」の破片であることがわかる。大字毘沙吐周辺は、幕末の豪雨により現在は河川敷になっている。この埴輪はかつて周辺に古墳が存在したことを示す貴重な資料といえる。(実物は上里町立図書館に併設されている郷土資料館で見学可能。)

第5回 8月 臨時会

8月10日

8月臨時会は、8月10日の1日間の会期で行われ、町長提出議案1件を審議しました。

◆ 条 例 ◆

工事請負契約の締結
(議案第48号)

要旨 長幡児童館・長幡公民館複合化改修工事に伴い工事請負契約を締結するものです。

第5回8月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議 案	議 員 名	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之	結 果
工事請負契約の締結（長幡児童館・長幡公民館複合化改修工事）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。 (○賛成 ×反対)



第6回 9月 定例会

9月4日~10月5日

9月定例会は、9月4日に開会され、議員9名の一般質問と町長提出議案等17件他を審議して10月5日に閉会しました。

◆ 条 例 ◆

要旨 上里町監査委員に関する条例等の一部を改正する条例

要旨 「地方自治法」の一部を改正する法律」の公布に伴い、「地方自治法」第243条の次に新たな条文が6本追加されたことによる関係条例3本の条ずれの修正の改正を行うものです。

要旨 上里町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び上里町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

要旨 「地方自治法の一部を改正する法律」の公布に伴い、第1号会計年度任用職員（いわゆるパートタイ

ム会計年度任用職員）及び第2号会計年度任用職員（いわゆるフルタイム会計年度任用職員）について勤め手当を支給するため、また、期末手当の規定について整理を行うために改正を行うものです。

要旨 上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 国の子ども・子育て支援交付金の対象となる放課後児童健全育成事業の内容について定める通知が改正され、放課後児童支援員とみなすことのできる研修修了予定者の範囲を改正するものです。

◆ 人 事 ◆

◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任

要旨 現委員の中島美晴氏が9月29日をもって任期満了となるため、新たな委員に、小林常雄氏の選任を提案するものです。

◆ 公平委員会委員の選任

要旨 現委員の大塚英一氏が9月30日をもって任期満了となるため、新たな委員に、高崎靖夫氏の選任を提案するものです。

◆ 教育委員会委員の任命

要旨 現委員の高階良雄氏が9月30日をもって任期満了となるため、高階良雄氏の再任を提案するものです。

◆ 令和5年度補正予算

上里町一般会計補正予算(第4号)

概要 歳入歳出それぞれ4億821万6千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ112億7419万3千円とするものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・財政調整基金積立金

1億1千万円

・公共施設等用地取得及び施設整備基金積立金

1億1千万円

・教育施設整備基金積立金

9千万円

一般会計の他、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

◆ 請 願 ◆

「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施中止を求める意見書」の提出を求める請願

要旨 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実

施中止を求める意見書を政府に送付することを求めるものです。(提出者・本庄民主商工会)

◆ 選 挙 ◆

選挙管理委員会委員の選挙・選挙管理委員会補充員の選挙

要旨 10月31日をもって任期満了となる選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を議会が行ったものです。選挙は、指名推薦により議長が指名した各4人(左表)が当選人と決定いたしました。

選挙管理委員会委員	選挙管理委員会補充員
大谷 昭雄	坂田 忠
関根 健次	相川 文夫
飯島 雅利	松本 親光
福田 雅憲	岸 智敏

第6回9月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	結果	
上里町監査委員に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
上里町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び上里町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
公平委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
令和5年度														議長	
上里町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和4年度														議長	
上里町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
上里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
上里町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
上里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
上里町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
上里町水道事業剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
上里町下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施中止を求める意見書」の提出を求める請願(委員会審査結果:不採択)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	不採択	

*議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対)

令和4年度決算に対する決算特別委員会の質疑事項（抜粋）

9月8日、議員12名で構成する決算特別委員会が設置され、各会計の決算内容の審査が付託されました。決算特別委員会では、9月11日から29日まで11日間に渡り、各課の関係職員の出席を求め、令和4年度決算に対する審査を実施いたしました。



委員会の様子

諸証明書コンビニ交付サービス導入事業について

問 利用状況は。

区分	2月	3月	合計
住民票の写し	89	149	238
印鑑登録証明書	69	96	165
税証明書	7	14	21
合計	165	259	424

※令和5年2月より事業開始

滞納整理事務について

問 差押えの内容を教えてください。

答 預貯金327件、生命保険2件、給与9件、所得税還付金18件、その他債権4件。

消防団運営事業について

問 県内で女性消防団を持っている市町はいくつあるのか。

答 県内64の消防団のうち、62団体。

マイナンバーカードについて

問 マイナンバーカードの交付数は増加したのか、またその背景は。

答 マイナポイント付与することにより申請が増えたと認識している。

子ども家庭総合支援事業について

問 「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の違いは。

答 「子育て世代包括支援センター」は妊娠出産・育児に関する相談に応じる業務。「子ども家庭総合支援拠点」は、要支援、要保護児童への支援。目指すところは同じであるため、来年度以降「子ども家庭センター」として一つになる予定。

かみさと「たまる健★幸マイレージ」事業について

問 健康マイレージの登録者が大幅に伸びているが、要因は何だと考えるか。

答 スマートフォン登録が徐々に増えてきている。また、家族や友人の口コミも一つの要因と考える。

観光物産 PR 事業について

問 プロモーションを実施したのか。特に町外でのイベントについて知りたい。また、今後も範囲を広げた町外へのPRを期待したい。

答 上里町観光・物産イベントを令和4年10月に実施。また、雹被害を受けた農家への支援を目的としたイベントを上里サービスエリアで実施した。町外でのイベントは、深谷市内で実施した渋沢栄一関連イベントに参加した。今後も町外へのPRに積極的に取り組んでいきたいと考えている。

駅北まちづくり事業について

問 「神原駅北まちづくり計画策定等業務委託」の調査結果と内容及び今後について教えてください。

答 業務内容は、駅前通りを含めた周辺区域の現地測量や交通量調査などを行い、「駅北まちづくり基本構想」を基に「駅北まちづくり基本計画」を策定。今年度は、基本計画に記載した施策を推進するため、駅前通りのウォークアブル空間の整備の検討と併せて、駅前通りのルート、位置決めについて検討していく。

英語検定料補助金について

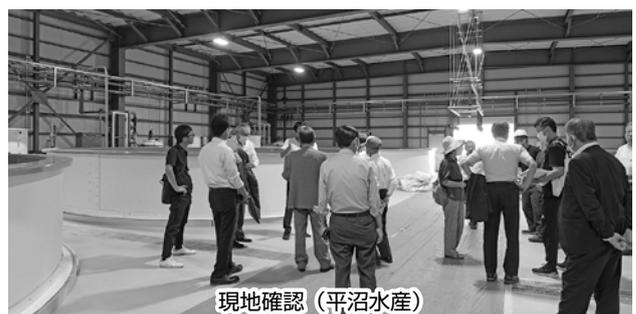
問 利用者が少ない。英検3級以上は厳しいと思われるので、4級以下に下げるとともに小学生まで拡大できないか。

答 各中学生への周知をしているが、さらなる周知を図っていく。4級以下及び小学校への拡大については、高校受験に向けての支援や小学校外国語教育を鑑みて個々の需要を確認していく。

認知症カフェについて

問 利用者が増加しているが、きっかけは何か。令和5年度も継続増加しているのか。

答 地域住民にはイオンタウン上里の協力によるミニ講座（骨密度測定）の開催、認知症とその家族は窓口で相談があった際の職員の紹介、認知症サポーターはステップアップ講座のPRがきっかけと思われる。



現地確認（平沼水産）

令和4年度 決算審査報告

10月5日の本会議において、決算特別委員会委員長より決算審査について報告されましたのでその一部を紹介します。なお、令和4年度の決算額等については、「広報かみさと11月号」に詳しく掲載していますので省略します。

決算特別委員会

委員長 高橋 勝利

行政区運営事業においては、区長会での防災・減災研修会は大変意義があるので継続していくことが望ましい。また区長のなり手がいない、区長がいないと行政区は成り立たないので、行政区運営は地域と町が連携していく必要がある。

保健センター等複合施設については、推進室が設置されたが、ヒアリングをいくつの課で実施したのか、また各課ヒアリングの要望内容は何があったのか、町民や一般の関係団体のヒアリングを実施すべきだったのではないかと、駐車場については検討段階で問題点はなかったのか、進捗状況は分かった時点で説明してほしい、無理やり通すのは反対である、施設周辺の交通渋滞は必然であり区長や近隣住民への説明が必要ではなかったのか等の意見があった。また、老人福祉センター機能のカラオケ設備は必要ないとのことであったが、それは担当課の意見を重視したものだったのか説明してほしい。

不能欠損や徴収事務等については、不能欠損額に町民税、固定資産税があるが、実態を的確に把握し最善の努力をお願いするとともに、適切な方法で税収確保に努めていただきたい。また、国民健康保険へ移行する人が増える中、厳しい面があると思うが、均等割にも課題があり、町民の生活を圧迫しない為にも国や県への要望を強めていただきたい。

防災行政無線については、町民からよく聞き取れないなどの声が多く聞かれ、家の中まで情報を伝達する手段にはどういった方法があるのか、防災ラジオで聞ければ一番理想ではないかとの意見があった。

空き家対策については、重要な問題であり、適正管理の依頼が19件とあるが、その後アクションがあった件数はどれくらいあったのか。今後一人暮らしの高齢者が増えると、その後さらに空き家が増えるため、対策を考えていただきたい。

相談体制事業においては、子育て日本一を目指す町として相談体制の構築が必要である。子供を安心して育てられる環境を整え、将来上里町に住み続けたいと思えるような町として、子育てについて悩まない相談体制事業を進めていただきたい。0歳児から就学児まで、家庭、学校、地域と一体となった子育て支援センターが必要。

子供が親から離れて体験するわんぱく合宿塾は良い事業である。地区によっては参加者が少ないので、開催方法について工夫して取り組んでほしい。

土地改良事業では、多面的支払い交付金が4団体に交付されているが、これを計画的に使うしてほしい。また、除草作業への参加が減少している。のり面カバープランツや防草シートによる対策も行われているが、費用対効果は課題である。今後の対策をお願いしたい。

道路維持補修事業は、要望件数に対して未実施件数が多くあるので、計画的に予算化して町民の要望に対応してほしい。

駅北まちづくりについては、神保原駅北東通り線調査業務委託費に多額な予算が使われているが、形になっていない。停車場線は県道であるが、予算だけ使って調査して価値があるのかとの意見があった。

下水道事業については、新設の為に本管を通していくのは多額の費用を必要とするので、設備投資しても、今後を考えると高齢化、人口減少が進む中では成り立たないのではないかと。また接続率向上は町の課題である。接続率向上に向けて今後は補助金の増額が必要ではないかと。浄化槽の設置年月日等のデータを収集した上で、戸別訪問や説明会を根気よく実施していただきたい。また整備区域の見直しも必要ではないかとの意見があった。

令和2年にスタートした老人福祉事業の高齢者お出かけサポート事業は、「こむぎっちゃん」を利用できない在宅の高齢者に対する事業だが、実績は年々増えている。1回当たり2枚まで使えるようにしてほしい。残り1年だが充実をはかり利用しやすい対策を願いたい。

一般介護予防事業の「ちょっくら体操」は年々参加者が減少傾向にあり、週1回での効果や、時間の設定、声かけ、サポーターなどの位置づけなどについて多くの人に参加していただく為の再検討を願いたい。

以上が決算特別委員会の主な意見であり、次年度事業の予算に反映されることを求める。





戸矢 隆光



問 維持管理費が毎年1億6千万円不足するが

答 未来への戦略を捉えて職員が一丸となっている

1 質問
タウンミーティングの
成果と課題について

問 タウンミーティングは上里町の未来について語り合う対話集会である。この事業実施を通して得られた効果及び今後の課題は。

答 今回のタウンミーティングは、町をよくするための前向きで自由なアイデア出しをお願いしたもので、多くの参加者の方から様々な視点と意見に基づいた意見を伺えた。一方課題は、テーマ設定型のミーティング手法の必要性も感じたところであり、山積する行政課題も踏まえ、より活発な意見が出るよう考えていく必要がある。

問 町の課題である神保原駅北事業や保健センター等複合施設整備事業の是非を聞くのが本町のタウンミーティングではないのか。

答 各事業に関しては、改めて事業説明会の形で取り進める方向で準備をしており、町

の方向性を説明する機会として考えている。

2 質問
高齢者対策の様々な
取り組みについて

問 認知症対策の一環の認知症カフェの目的は、本人や家族などが個人で悩むことを少しでも軽減し、家に籠る人、悩む人を減らす目的で開設したのでは。自治体よっては、人が集まる場所にカフェを数か所開設し、気楽に立ち寄ってほしいと呼びかけを行っているところもあるが、町の今後の取り組みは。

答 町でも単身高齢者世帯が増加する中で、地域の方が認知症の発症に気付き、民生委員や地域包括支援センターへつなぐ役割を担ってもらうことが必要と考え、昨年度より認知症の出前講座を始めた。そして相談しやすい環境づくりに取り組み、認知症の方とその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指したい。

問 無事故防止の一環として、行政が希望者に無償で高齢者マークを交付して啓発を図るのも良いのではないか。

答 高齢者マークの表示は交通安全に直接つながり、高齢者自身を守るための行動であるため、無償で交付されるからつけるのではなく、高齢になってリスクがあることを自覚してもらい自ら購入してつけるのが望ましい。また、免許証更新時の講習会の受講などで事故防止について個人で努めていると思っている。以上の自衛する事も含めて検討していきたい。

問 町民ホールにモニターテレビを置き、特殊詐欺についての手口や未然防止策の啓発用ビデオを流し、防止のPRを図ったかどうか。

答 特殊詐欺防止に向けた注意喚起につながると考えられるので、今後の状況も勘案して検討していきたい。

3 質問
工業立地における町の
取り組み状況について

問 企業誘致のための用地確保も含めた上里インター周辺の農振振興地域の見直しを含めた産業団地やミニ工業団地への町の取り組み状況は。

答 埼玉県の企業誘致担当部局等と連携し、周辺の面整備を含めた一体的な計画案を検討し、農地法や都市計画法などの法令上の規制について各担当部署と調整を進めていきたい。

問 公共施設等の総合管理計画によると、維持管理費が毎年1億6千万円不足するが、その不足額を捻出できるのは工業団地や企業誘致では。

答 ふるさと納税で税収を上げる一方、企業誘致をして若者に働く場を作る。また、子育てできる環境を作れば、企業が進出してくるため税収も増える。未来への戦略をしっかり捉えて、職員が一丸となって進んでいるところである。



飯塚 賢治

問 インクルーシブ遊具の設置を

答 設置を前提として遊具の選定を進めたい

質問 1 災害時対策について

問 「災害対策本部」の業務継続性確保のための非常用電源は必須と考える。この庁舎では、最低3日間、72時間対応の発動発電機が設置されているが、負荷運転試験、定期試験の回数、燃料劣化の調査、燃料販売業者との優先供給に関する協定の締結はできているのか。

答 庁舎に設置の非常用発電機はディーゼルエンジンで駆動しており、負荷運転試験は年に一度、定期的な試運転が月に一度、正常な始動及び運転がなされているかを確認。燃料は残燃料を確認しながら適宜補充を行い72時間の連続運転が可能を保っている。燃料販売業者との優先供給に関する協定は、町内燃料販売店5社と締結している。

質問 2 子宮頸がん撲滅に向けた取り組みについて

問 HPVワクチン積極的勧奨が再開され、キャッチアップ接種は令和6年度末までに1回目の接種を開始する必要がある。町内の接種対象者の状況を伺う。

答 平成9年度から平成19年度生まれの女性は、令和6年度末までにキャッチアップ接種としてHPVワクチンを公費で接種できることとなる。令和4年度のキャッチアップ接種対象者は1310人おり、そのうち1回目の接種を受けた方は253人で、接種率は19.3%となる。最終期限となる令和6年度末までのキャッチアップ接種対象者は1599人となっている。令和4年度キャッチアップ対象者へは、最終期限が令和6年度末であることも明記して通知している。

質問 3 誰一人取り残されない学びの保証に向けた不登校支援の推進について

問 全国の小中学校で不登校の児童、生徒が急増し、文部科学省は「COCCOLOプラン」を発表した。それを受けてどのような取組がなされたか伺う。

答 現在、国の審議会において、男性へのHPVワクチン接種について、予防接種法に基づく定期接種にすることについて議論が開始されている。その動向を注視して、慎重に検討する。

質問 4 公園について

問 全ての子どもが歓迎され、地域の多様な方たちが交流できるインクルーシブ遊具の設置について。

答 来年度以降実施する更新工事にあたり、国の交付金を活用できるかなど条件があるが、設置を前提として遊具の選定等を進めていく。

問 HPV感染は、男女間で感染を繰り返すため、男女にワクチン接種することにより、感染が広がることを効果的に抑えることができる。男性のみ全額実費で接種をもとめるのも、ハードルが高い話だ。一部助成はできないか。

答 現在、国の審議会において、男性へのHPVワクチン接種について、予防接種法に基づく定期接種にすることについて議論が開始されている。その動向を注視して、慎重に検討する。

問 全国の小中学校で不登校の児童、生徒が急増し、文部科学省は「COCCOLOプラン」を発表した。それを受けてどのような取組がなされたか伺う。

答 来年度以降実施する更新工事にあたり、国の交付金を活用できるかなど条件があるが、設置を前提として遊具の選定等を進めていく。





植原 育雄

問 長期学校休業日の児童館開所時間について

答 令和6年度より午前7時30分より開所へ

質問 1 ウニクス上里店出入口への定期信号機設置について

問 平成30年6月議会の町長答弁と埼玉県警察本部（交通企画課）の回答につき町長の考えは。

答 土地の所有者の考えもあり、四差路の交差点になればと検討してきた。現状では定期信号機設置は難しい状況のため、交差点の一時停止の徹底を図る為の路面標示や看板の設置等の対策を実施したい。

質問 2 保健センター等複合施設の建設について

問 なぜ施設利用者の意見を聞かなかったのか。老人福祉センターの利用者の意見を事前に聞いていけば、上里町老人クラブ連合会長から老人福祉センターの機能が何もないので計画の変更を願いたい等の意見が出なかったのでは。

答 施設利用者の意見について

では、各施設の担当職員が日々の業務を通じて丁寧な聴取している。

問 複合施設の「多目的室」について、検討委員会の委員から多目的室は保健センターの各種検診等で使用する為、使いたい時に使えないとの意見があった。聞こえは良いが使い勝手が悪い。各施設には施設に合った機能を備えるべきでは。

答 保健センターの各種検診業務が優先的に使用。運用により十分、福祉町民センター、老人福祉センターで行う事業は可能である。

問 新たな老人福祉センター建設について、老人福祉センターを別の場所に建設し、3館を2館の複合施設に、老人福祉センターは高齢者の方がくつろげる場所、憩いの場所にするべきではないか。

答 老人福祉センター建設には補助金、起債共に該当なく、役場庁舎東側に3館複合施設を建設した方が有利である。

問 保健センター等複合施設の建設に伴う国庫補助金・地方債の活用と町負担の建設金額の試算について。

答 総建設金額10億4700万円程度と試算している。財源内訳は都市構造再編集集中支援事業を活用した国庫補助金額は3億8600万円、公共施設等適正管理推進事業債の集約化と複合化事業を活用した交付税措置は2億6600万円程度となり、町負担額は3億9500万円程度と試算している。

問 役場職員の利便性が全面に出ているのではないか。第一回検討委員会の議事録から渡り廊下やスロープを検討するとあるが、副委員長から町の為の施設のため、この検討委員会は町民目線でなければならぬと発言があった。

答 保健センター等複合施設検討委員会の中で、複合施設並びに役場庁舎利用者の利便性を考え、渡り廊下であるとかスロープを建設すると報告

を受けている。保健センター等複合施設検討委員会で協議されたものは第一に町民の為であると認識している。

質問 3 児童館の活用改善について

問 開所時間を長期学校休業日に限り午前7時から午後7時までとすることについて。

答 令和6年度より学校休業日等は午前7時30分から開所できるようにすすめている。30分の延長時間拡大に伴い保護者から延長料金を徴収する事も併せて検討している。



3館複合施設建設予定地



上里東児童館



一般質問

猪岡 壽



問 駅北まちづくり協議会の今年度未開催について

答 今年度駅北まちづくり協議会は11月開催予定

質問 1 神保原駅北まちづくり協議会について

問 令和5年度の駅北まちづくり協議会のメンバー構成やスケジュールを確認したが、駅北まちづくり協議会が北口

開発に向け頑張っているなど感じた。駅北開発も長年の念願であったコンパクトで安全で持続可能な駅通りに生まれ変わる時期も来るものと大いに期待されるところであるが、令和5年度になって半年経っているのに駅北まちづくり協議会が未だに開催されていない状況だ。駅北まちづくりは上里町の発展には欠かすことの出来ない重要な課題だが、なぜ協議会が開催されないのか。

答 本年度の協議会の開催は11月後半を予定している。

今後は連絡を取りながら進めて行きたい。

問 北口開発については、メインとなる高校誘致があるが、その高校誘致も学校法人より

話があつてから4年が経過している状態だ。時間が経てば高校誘致も難しくなり、最悪の状態になるだけだ。町長が地権者と学校法人の仲介役となり、誘致の話をもとめるべきであると思うが。

答 学校法人については今進めているところだが、非常に時間がかかっていることは認識している。町づくりには大変重要な案件であり、学校法人が来ることによって、新たな教育環境が整備され、良い人材が上里町で育つことになる。町の活性化、発展、成長に結びつくと思いい、関係者と前に進めないかと今やっているとところだ。町民と議員の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

問 高校誘致については、問題が幾つかある。土地を町で買い上げて高校を誘致するか、あるいは民間同士で土地の売買あるいは賃貸し、そして町がインフラ整備に回るか、色々考えられるが。

答 学校法人は、町が土地取得することを望んでいる。町が取得することにより、学校法人に町の意見が反映しやすくなることから、引き続き用地取得に向け、地権者の代理人と交渉していく。



質問 2 ふるさと納税について

問 ふるさと納税について、

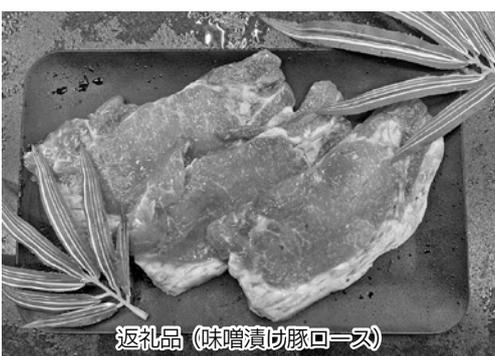
昨年10月臨時議会で納税額が1億円以上になると見込まれるとの発表があつたが、この決算での寄付額はどのような結果であつたか。

答 令和4年度の寄付額は1億2577万円で令和3年度

より1億796万円と大幅な増加となり、伸長率は606.4%となった。
今後も多くの方に上里町を知って頂き、町の取組を応援していただけるような魅力ある返礼品の拡充に努めるとともに、国の動向等を注視しながら、寄付額の増加に向けた取り組みを進めていきたいと思う。

問 昨年より大幅に増えた寄付額の使途について。

答 子ども医療費支給事業や、小中学校教育振興事業、学力向上推進事業などを中心に、充当している。





高橋 勝利

問 誘導機能はうまく進んでいるのか

答 早い段階で成果が出るよう取り組む

質問 1 立地適正化計画が10年目を迎えた事について

問 立地適正化計画の進捗状況、背景、計画の目的について

答 立地適正化計画は、居住や都市機能の誘導と公共交通の充実、連携によりコンパクトで持続可能な都市構造の形成を目指すため、20年後の町の姿を展望する計画である。

機能の集約については、現時点では、計画で定めた各種施策を推進する準備段階だが、早い段階で成果が見えるよう取り組んでいきたい。



富山県のLRT

質問 2 誘導施設について

問 公共公益について。

答 保健センター等複合施設を役場庁舎東側に建設する際

のメリットは、立地適正化計画の都市機能誘導区域に、誘導施設である保健センター、老人福祉センター、福祉町民センターの複合施設を建て替える事により、国の補助制度である都市構造再編集中事業を活用する事が出来ることである。補助対象事業の2分の1が国の補助になる。

多くの方がデメリットとして心配している駐車場だが、保健センターで人数の多い特定検診時は、最大で50台に満たない駐車台数と報告を受けている。

今後も、人を健康に地域を元気にできる施設を目指し、複合施設建設を鋭意進めていく。

問 誘導施設の子育て支援について。

答 上里町における教育機関誘致は、昭和47年頃からの町の悲願であり、当時、県立高校誘致について陳情したところ、同時期に美里町、本庄市でも誘致運動が始まり、見玉郡への設立が望まれ、本庄市

仁手地区に県立高校が開設された。その後、PTAから町議会へ陳情した経緯もあり、その思いを受け継ぎ教育機関の誘致を推進していく。

質問 3 立地適正化計画推進に向けた取り組みについて

問 施策1・2にある駅周辺の賑わい及び魅力向上について。

答 コンパクトシティ実現に向けた第1歩として、駅北まちづくりの推進とともに、駅周辺を中心とした賑わいや魅力の向上を図るため、引き続き教育機関の誘致や道路整備、保健センター等複合施設の整備について取組み、都市機能誘導区域への誘導施設の立地を促す支援制度についても検討しており、コンパクトシティ・プラス・ネットワーク型の都市づくりの実現に向けて努力していく。

質問 4 神保原駅が誕生した経緯について

問 廃駅寸前の駅を救った先人及び神保原駅開業までの経緯について。

答 先人たちが長年の努力によって神保原駅を開業し、廃駅の危機を乗り越え存続してきたことで、首都圏などへ便利に移動できる恩恵が受けられていると理解している。



神保原駅

質問 5 育成会の在り方について

問 育成会の存在及び課題について。

答 教育長 育成会の存続が危ぶまれている点について、子ども育成会の意義について発信していくとともに、子供たちが多くの体験ができるよう育成会を支援していく。



沓澤 幸子



問 ゼロカーボンシティ宣言をした町が重視することは

答 再生可能エネルギーなど、公共施設で導入に努める

1 地球温暖化対策（環境基本計画の具体化）について

問 町の第2次環境基本計画は、温室効果ガスを2030年に46%削減目標とし、「必要に応じて見直す」としたが、温暖化が加速しており見直しが必要だ。プラスチック製容器包装等の分別回収の準備は整ったか。リサイクルステーションを他の公共施設にいつまでに設置するのか。

答 プラスチックの分別回収は、児玉郡市清掃行政研究会でも重点取り組みだが、莫大なコストが掛るため検討を継続している。町は10月の小型家電回収と合わせ回収を行う。リサイクルステーションは、七本木・上里東・賀美公民館は実施しているので周知したい。神保原・長幡公民館は、設置が可能かを含め取り組みを進めたい。

問 プラスチック分別の回収が進まない原因は、財源問題である。自治体が負担をして

いるシステムを国に要望し、全ての自治体で早急に取り組む必要がある。

答 県、国へあげていきたい。町村会の副会長でもあり、機会を捉えて訴えていきたい。

問 日常生活で無理なくプラスチック容器の削減ができる様に、学校・公共施設に給水スポットの設置を。

答 給水スポットは有用だが、コストや維持管理費用、場所の選定など課題もあり、研究を進めたい。

問 大型商業施設に分別品目の拡大や量り売りで容器を減らすなど具体的な協力依頼と、町内の温室効果ガス排出量46.3%の産業部門の対策は。

答 商業施設を含めた企業の皆様に呼び掛けている。リサイクルは話を進めているが、量り売りはまだ。産業部門対

策は、児玉工業団地工業会へ情報交換や具体的な取り組みを働きかけている。「ゼロカーボンシティ宣言」後、複数の企業から声を頂いている。

問 ゼロ・ウェイストの実現に向け、分かりやすい広報の強化を。くらし安全課は、空き家対策もあり温暖化対策を加速する必要があるから体制が厳しすぎる。

答 将来にツケを残さないという考えである。ゼロ・ウェイスト、3Rの考え方を浸透する必要がある。広報誌、ホームページ、出前講座などで取り組みを紹介したい。役場の体制も来年度も含め参考にしたい。

問 異常気象対策の2本柱は省エネと創エネである。ゼロカーボンシティ宣言をした町が、今後重視することは。

答 地域の特性を生かせる太陽光発電などの再生可能エネルギー、蓄電池、省エネ設備や機器の導入を目指す。公共施設で率先して設備、導入に

努める。

問 ①公共施設の太陽光パネル設置は、急ぐ課題ではないか。②農業用水を利用したり、群馬県藤岡市の様な水道施設の水を活用した水力発電はどうか。③幅広い年代の議論の場となる、「気候町民会議」を設置しては。

答 ①スピード感を上げることが大切だと思う。②再生可能エネルギーや環境エネルギー対策の取り組みとして、令和8年度以降に改訂予定の上里町水道ビジョンの施策として取り組む必要がある。③リサイクル活動登録団体と行政区长宛てにリサイクル活動等に関するアンケートを実施。意見交換の場も予定している。町民の会議も必要と思っている。

※その他に、保健センター等複合施設計画、排水路清掃等の負担軽減について質問した。



上里町役場の太陽光発電設備



石井 慎也

問 大詰めとなっている用地交渉の進捗状況は

答 交渉条件のすり合わせをしている

質問 1

情報発信について

問 上里町のホームページが見にくく、求めている情報も探しづらいのでページ内のデザインや配置を改善してみてはどうか。

答 令和5年3月15日よりリニューアル公開した。リニューアルをして間もないことから、まずは利用者の声の収集に努め、これらを評価・分析し、持続的な更新に努めている。

問 上里町公式ラインアプリをより活用し、町の情報を漏れなく発信できないか。

答 登録者自らが必要とする情報をカテゴリーごとに選択できるセグメント配信の導入を検討していきたい。

問 YouTubeを活用し上里町の魅力を発信してはどうか。

答 作成する動画の構成や台本作り、撮影、編集作業など多くの時間と労力が必要とな

る。担当課と協議し、取り組める部分から情報発信が出来ればと考えている。

質問 2
神保原駅北まちづくり進捗状況について

問 6月定例会で地権者との用地交渉が大詰めを迎えていると言っていたが、今日までに進捗状況や結果報告が何もないが現在どのような状況なのか。

答 交渉中の案件のため、詳細な回答は控えるが、交渉条件のすり合わせをしている。

問 用地交渉に学校法人も入っているのか。

答 用地交渉には学校側は同席していない。用地交渉するにあたっては学校側の意向も伺っている。

問 駅北まちづくり事業用地測量各種調査業務委託が令和4年度予算に入っており建物の調査を行ったと聞か

るのか。

答 地権者の財産に係る

ことを公表することは地権者にご迷惑をかけることとなるので差し控えたい。



駅前通り

質問 3
上里町公共施設再配置・維持保全計画について

問 保健センター等複合施設基本構想内には、専門窓口の連携による機能充実と総合的な相談支援体制の仕組みを備えた施設を目指す、とあるがどのように相談支援体制を作っていくのか。

答 保健センターや社会福祉協議会の専門職などが連携し、相談を受ける事を想定している。新しい施設の相談室を利用して高齢者の相談に応じることもできる。

問 施設の図面を見ると老人センター機能が以前の施設よ

り小さくなり、公民館や多目的スポーツホールで代替出来るような内容になっているが、3館複合施設でなければ出来ない、高齢者に対する事業や活動はあるのか。

答 同じ館の中に保健センター、社会福祉協議会が入る強みを生かして、総合的な相談支援体制をつくり、元気に暮らせる健康長寿を目指して、健康と福祉を増進する事業を推進していきたい。

問 上里町公共施設再配置・維持保全計画を見直し、どの世代でも使うことのできる住民福祉に寄与する施設を整備してはどうか。

答 新たな施設の建設について検討を行う場合は、上里町公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の趣旨に沿ったものでなければならぬ。各計画の方針を踏まえるとともに、図書館や児童館、公民館など既存施設の有効活用も勘案しながら、慎重な判断をしていく。



一般質問

齊藤 崇



問 酷暑の中での町主催事業は

答 来年度以降は検討する

1 質問 夏期における酷暑の中での町主催の事業開催について

問 今年の夏は例年にならない酷暑、災害級の暑さとも言われる中で「防災フェスティバル」が7月下旬開催された。老若男女の熱中症が懸念され、実施者、関係者来賓が参加されての開催。町独自の事業であるので、時期、時間帯を考慮してはどうか。

答 調節池だと天候に左右され中止になる場合も想定される。令和元年以降、会場をイオンタウン上里に変更した。今後は参加者の負担や熱中症のリスク、健康を第一に考え、来年度以降の実施については検討したい。

2 質問 小・中学校の教育、教育現場について

問 各学校に設置されている多くのプールが経年劣化で老朽してきている。県内の約半数の公立小・中学校が民間委託に移行している。また、他

市町では2校程度更新してプールを共用している自治体も存在している。本町では今後どのように考えるのか。

答 教育長 プール授業の民間委託は令和に入り本格的に開始されてきた。県もこれを推奨している。本町の1中学校はプール授業を民間に委託した。時期や天候にとらわれず質の高い授業が受けられた。来年度は中学校のプール授業は実施せず、小学校のプール授業は民間委託にすることを検討。



上里中学校プール

問 2020年度から小学生への英語教育が必須化された。グローバル化社会で英語力を養えば選択肢が多くなる。児

童が英語を好きになれるような授業を心がけては。

答 教育長 現在、町の小学校では英語が「好き」「どちらかと言えば好き」と答えた児童が半数以上いる。今後、更に英語好きな児童を増やせる授業改善に取り組む。

問 校庭及びその周辺の管理について、雑草がかなり目につく。校庭等の雑草は美観的に悪く、害虫の棲みかにもなりかねない。PTA等が年一度実施している草退治では不十分では。

答 教育長 ここ数年コロナウイルス感染症拡大防止で中止となっていた。年一度の作業では校庭等の環境を整えていくのは難しい。今後も職員作業等また、地域の協力を得ながら計画的に取組んでいく。

3 質問 町の特産、観光事業について

問 1市3町で観光協会がないのは本町だけである。町は県に2年間職員を派遣、また

島田副町長も県の観光事業を預かる観光課長を歴任していたと聞いている。本町には名所旧跡や特産品も少ないが、早急に立ち上げは。

答 現在、産業振興課内に産業観光係を設置。町のHP、SNSや観光ガイド「今、上里キブン」、上里梨マップを作成し情報発信している。今後、早期設立に向け準備をして行きたいと考えている。

問 8月初旬、小学生の意見発表会が開催された。町のPR大作戦、子どもたちがこの町をどのように思い、また、どのように町外にPRしていくのかプロセスを提案してくれた。この発表を聞いて町の対応は。

答 町外に町の魅力をPRするため、観光ガイドなどを設置。また、県庁などへ配架に加え、各種イベントの来場者に向けた観光ガイド等の配布をしている。町が進む方向と子どもたちの思いが一致している事が確認できた。



新井 實

問 人口急減をしのぐ地域社会確立について

答 都市機能集約型の町づくりを推進する

1 人口減少が加速する中で
の地域社会の確立について

問 人口の急減をしのぐ地域
社会の確立について。

答 現在上里町では、人口減少社会を見据え、持続可能な地域社会の確立を目指し、令和4年1月には上里町立地適正化計画を策定し、人口減少や高齢化に対応した都市機能集約型の都市づくりを推進している。今後の取組としては、神保原駅周辺の整備と併せ、誘導地域の立地によるにぎわいや魅力の向上、災害に対する安全・安心な住環境の形成、上下水道の計画的な整備の推進、公共交通の利用促進と各種施策の実施により、居住の誘導を図ってコンパクトな町づくりを進めていく。

2 マイナ「保険証」について

問 健康保険証とマイナンバーカードを一体化した「マイナ保険証」の未取得者に発行

する「資格確認書」について。

答 議員からマイナ保険証と健康保険証の選択制について、国に陳情をという意見も頂いたが、国では保険証の廃止の時期を含め、様々な議論を重ねているので、その動向を注意深く見守っていく。今後、町としては、健康保険証の廃止の時期や資格確認証の運用方法など国が示す方針を注視しながら、マイナ保険証の本格運用に向け確実に準備を進めていく。

マイナンバーカード



3 子供の貧困対策について

問 学習や部活動体験の機会を失うことがないよう守ることに

答 教育長 上里町の小・中学校には就学援助制度があり、経済的に困っている家族の児童・生徒の保護者に対して、

就学に必要な費用の一部を援助している。

また、学習面での支援については、塾に通っていない児童・生徒を対象にした中学生学力アップ教室、小学生向けの上里っ子ジャンプ教室がある。

部活動については、公式戦の交通費を町で補助している。奨学金については、日本学生支援機構等で給付型がスタートしており、貧困世帯への支援が拡充されつつある。



上里っ子ジャンプ教室

4 水素の活用について

問 次世代エネルギーの最先端を行く「水素」で脱炭素社会の実現を目指すことについて

て。

答 政府は令和5年6月に水素基本戦略を改定し、水素の本格的な商業利用に向けたサプライチェーンを構築するために、今後15年間で15兆円の投資をすることや、2040年の水素供給量を現在の200万トンから6倍の1200万トン程度に拡大することを要点として、さらなる水素社会の実現に向けた取り組みを示した。以上のことから、国の脱炭素や気候変動に対する水素関連の取組が、福島県浪江町の福島水素エネルギー研究フィールドをはじめ、全国的に加速化していることが考えられる。町としても、2050年カーボンニュートラルを念頭に、議員提案の近隣市町と連携、協力しての水素タウン構想も含め、何ができるか調査研究し、経済産業の発展に伴う取組について検討していくことが町を活性化することにつながることを考えている。

『ふれあい座談会』を開催

「第2回 意見交換会
ならびに議会報告会」

○日時 10月28日(土) 13時30分～16時

○場所 上里町役場4階 大会議室

○内容 ①議会報告会「定例会・臨時会の概要」

○参加者 14人

②意見交換会「テーマ：子育て支援・まちづくり」(テーブルトーク形式)

スライドを使って、議会報告(定例会・臨時会の概要)を実施しました。



○各グループの主な意見



●Aグループ 発表者：石井慎也議員

【子育て支援】

・孫育てをしている方の意見として、子育てが一段落した世代の方がサポートできるのではないかと。子育てが一段落した方のサポートを活用したらどうか。

【まちづくり】

・上里町には総合病院がない。総合病院が無理でも、病院を増やしてほしい。また、こむぎっちょ号が総合病院まで走ってくれるとよい。



●Bグループ 発表者：飯塚賢治議員

【子育て支援】

・子供連れで児童館などに行くが、子供を他の人に少し預けてゆつくりしたいと思うが、実際行くと子どもから目を離さないと言われてゆつくりはできなかった。そこに支援の手を差し伸べてほしい。

【まちづくり】

・『小さな駅前を旅するマーケット』がとてもよかった。この事業を盛り上げてゆきたい。



●Cグループ 発表者：沓澤幸子議員

【子育て支援】

・上里町が『子育て日本一の町』として頑張っているのが町民に伝わってこない。『子育て日本一』を目指している町として活動をアピールしていくべきではないか。政策的にもまだ弱い。

【まちづくり】

・駅北まちづくりについて、トライアル跡地はどうかしてほしい。



●Dグループ 発表者：植原育雄議員

【子育て支援】

・児童館の学童保育に入れられない方がいる。条件を緩和できるように要望したい。

【まちづくり】

・空き家対策、遊休農地について、原因としては収入を得るために町を出て行ってしまうことが原因ではないか。企業誘致を進めて、上里町に在住して勤めもできる環境を作ってほしい。



参加者の感想

- ・昨年も参加したが、もっと一般の方の参加者が多かったと思う。行政区等にも依頼して参加者を増やしたらどうか。テーマがあったので、話しやすかった。また議員の方の意見も聞いて良かった。若い方にも参加してほしいので、色々な方法で情報を流してほしい。今日はとても良かった。
- ・チラシをいただいたので参加した。議員の方とお話する機会はないので、興味があり参加した。気さくな雰囲気でも色々な意見が言いやすくて助かった。子連れでも気楽に話が出来る場所があると相談しやすい。また続けてほしい。
- ・このような場を作って頂き、議会議員の皆様と交流が出来てよかった。自分はスポーツ少年団にも関わっているので、色々な意見が言えてよかった。こういう機会があればまた参加したい。貴重な時間をありがとうございました。
- ・ふれあい座談会を楽しみにして来た。議員さんと直に話す機会はないので、有意義な一日でした。ありがとうございました。

※参加者の皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に活かしていきます。

議会日誌

9月

- 4日 定例会開会、町長の行政報告、一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 全員協議会
- 7日 議案審議(条例改正、補正予算等、決算総括説明)
- 8日 議案審議(決算意見書報告、総括質疑、委員会付託)
- 11日 決算特別委員会(令和4年度決算審査)～10月2日
- 13日 全員協議会、本庄上里学校給食組合議会

10月

- 3日 総務経済常任委員会
- 5日 全員協議会、決算報告、請願等審査報告、閉会
- 6日 埼玉県町村議会議員研修会
- 17日 議会広報広聴常任委員会
- 18日 全員協議会
- 28日 意見交換会ならびに議会報告会

11月

- 3日 上里町表彰式典
- 9日 議会広報広聴常任委員会
- 12日 かみさとふれあいまつり
- 15日 児玉郡議長会行政視察
- 16日 議会運営協議会
- 17日 全員協議会



ことにより飲食を伴うお祭りとなりました。会場も以前開催の堤調整池。当日はどんよりした今秋一番の寒い日にもかかわらず多くの人が来場されました。町内外のお店や団体の皆さんの売店。開会式前から並ぶ人。

編集後記

コロナ禍に伴い飲食を自重していたふれあい祭りも5類になった

老若男女が一堂に会し、笑顔あふれる姿が祭りを通して随所に見られるようになったことが、この地域にもコロナ禍を乗り越え以前の日常が戻ってきたなど感じたところです。報道では世界の各地での戦争の話題が出ない日はありません。一日でも早く世界中で戦争がなくなり、平和で暮らせる日が来ることを願うばかりです。

- 議会広報広聴常任委員会
- 委員長 齊藤 崇
 - 副委員長 伊藤 覚
 - 委員 石井 慎也、高橋 勝利、植原 育雄、高橋 仁、戸矢 隆光

第7回12定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
	(開会) 一般質問	一般質問		議案審議	常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	常任委員会	(閉会) 報告・採決				
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は午後1時30分です。(時間は変更になることがあります。)
 ※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
 ※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第7回12月定例会一般質問一覧

氏名	質問事項
4日(月)	沓澤 幸子 <ul style="list-style-type: none"> ① 平和事業について ② 物価高騰対策について ③ 学校の課題について ④ 地球温暖化対策について
	伊藤 覚 <ul style="list-style-type: none"> ① 県道勅使河原本庄線(旧中山道)沿線の交通安全対策について ② 災害発生時における行動や対応の学習方法について ③ 上里町子育て世帯応援産産祝品について
	金子 義則 <ul style="list-style-type: none"> ① 複合施設建設について ② こども子育て支援について ③ 学力格差
5日(火)	石井 慎也 <ul style="list-style-type: none"> ① ふるさと納税について ② 子育て日本一について
	戸矢 隆光 <ul style="list-style-type: none"> ① 基金の創設について ② 駅北まちづくり事業について ③ 複合施設について
	高橋 勝利 <ul style="list-style-type: none"> ① 3館複合施設建設について ② 埼玉県公立高校入試・改善案を公表した事について ③ 神保原駅北まちづくりについて
5日(火)	飯塚 賢治 <ul style="list-style-type: none"> ① 下水道終末処理跡地の有効利用について ② 子どものインフルエンザ対策について ③ 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について
	齊藤 崇 <ul style="list-style-type: none"> ① 出産・子育てについて ② 通信機器の管理について ③ 感染症の流行について
	新井 實 <ul style="list-style-type: none"> ① 観光立国の再興と振興策について ② 埼玉県の観光地PR不足について ③ 神保原駅北まちづくりについて ④ 保護猫活動の寄付について ⑤ 子供への性犯罪について



掲載を希望していただく